

# Cisco Meeting Serverのロードバランシングロジック

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[CMSのロードバランシングアルゴリズムとは何ですか。](#)

[ロードバランシングアルゴリズムの例](#)

[例1:Call Bridgeに負荷がない](#)

[例2:Call Bridgeグループ内のスペースにすでに参加しているユーザ](#)

[シナリオ 1.既存の会議のしきい値\(80 %\)よりも低いアクティブな領域と負荷](#)

[シナリオ 2.既存の会議のしきい値\(80 %\)を超えるアクティブな領域と負荷](#)

[例3：既存の会議のしきい値を使用したCall Bridgeでのコールランディング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Meeting Server(CMS) (旧称Acano製品) のロードバランシングロジックについて説明します。このロジックについては、[ロードバランシングのホワイトペーパー](#)で説明しています。このドキュメントでは、このプロセスをフローチャートで視覚化し、選択アルゴリズムについて詳しく説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Meeting Server Call Bridgeコンポーネント ( およびそのクラスタリング )
- Cisco Meeting Server APIの設定

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Meeting Serverバージョン2.4.xに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## CMSのロードバランシングアルゴリズムとは何ですか。

ロードバランシングは、会議リソースを効率的に使用するためにCMSバージョン2.1で導入されました。同じスペースをホストするCall Bridge間のディストリビューションコールの数を最小限に抑えようとしています。このメカニズムは、Session Initiation Protocol(SIP)のReplacesヘッダーに基づいており、コール制御としてCisco Unified Communications Manager(CUCM)でサポートされています。また、ExpresswayバージョンX8.11 (以降)とCMSバージョン2.4以降を組み合わせることもできます。CMAコール(シッククライアントとWebRTCタイプの両方)は、CMSバージョン2.3以降でもロードバランシングできます。

注：現時点では、Lync/Skype通話のロードバランシングはどのCMSバージョンでもサポートされていないため、このフローチャートは適用されません。

注：ロードバランシングロジックはCMSスペースへのコールにのみ適用され、現時点ではゲートウェイコール(P2Pコール)またはデュアルホームコールには適用されません。

ロードバランシングのプロセスは、[ホワイトペーパー](#)の「ロードバランシングで設定を使用する方法」の項(「着信コールのロードバランシングのためのコールブリッジの設定」)で説明されています。これはテキスト形式で表示され、フローチャートで視覚化されています(ダウンロード)。

フローチャートでは、いくつかの略語と用語を使用しています。

- CB = Call Bridge
- ExistingConferenceLoadLimit = existingConferenceLoadLimitBasisPoints \* loadLimit  
(デフォルトでは、existingConferenceLoadLimitBasisPointsは8000に相当し、80%に相当します)
- NewConferenceLoadLimit = newConferenceLoadLimitBasisPoints \* loadLimit  
(デフォルトでは、newConferenceLoadLimitBasisPointsは5000に相当し、50%に相当します)。

MediaProcessingLoadが参照されている場合、コールが着信した特定のCall Bridgeに関して表示されます。このロード値は、/system/loadのAPI GETを使用してリアルタイムで確認でき、その時点でこのCall Bridgeによって処理される実際のロードを示します。



## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。